

所属	自然科学系	職名	講師	氏名	佐藤 宏平	記載年月日 (和暦)	平成28年11月9日
I 主な教育活動							
I-1 教育実践上の主な業績(過去3年)							
(平成25年度) 非常勤講師(東京工芸大学) (平成26年度) 非常勤講師(東京工芸大学), 非常勤講師(茨城高専)							
I-2 クラブ指導における主な業績(過去3年)							
I-3 その他の該当事項(過去3年)							
I-4 校務担当(該当年度も含め過去3年)							
(平成27年度) 教務委員会, 情報セキュリティ推進委員会, カリキュラム検討専門部会, 情報処理センター専門部会 (平成28年度) 学生委員会, クラス担任(3年 物質工学科)							
I-5 担当クラブ等(該当年度も含め過去3年)							
(平成27年度) サッカー部 (平成28年度) サッカー部							
II 主な研究活動(著書・論文等の名称)(過去7年以上. 専攻科様式第5号形式とする)							
著書・論文等の名称	単著 共著	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名(共著のみ)			
II-1 (学位論文)							
Existence of crepant resolution for abelian quotient singularities by order p elements in dimension 4	単著	平成23年3月	首都大学東京				
On the existence of a crepant resolution and the McKay correspondence for Gorenstein toric quotients of the conifold	単著	平成26年3月	首都大学東京				
II-2 (著書)							
変形理論について	共著	平成22年2月	第3回琵琶湖若手数学者勉強会 報告集, (2009)pp.1-55	川谷康太郎, 佐藤宏平, 関谷雄飛, 渡邊健太			
On the existence of toric crepant resolution of toric hyperquotient singularities in dimension three	単著	平成23年10月	2011代数幾何学シンポジウム 記録, (2011)pp.152				
Affine toric terminal 3-fold上の有限対角作用による商空間のクレパント特異点解消について	単著	平成23年11月	2011第九回代数曲線論シンポジウム報告集, (2011)pp.43-52				
II-3 (学術論文)							
Existence of crepant resolution for abelian quotient singularities by order p elements in dimension 4	単著	平成23年1月	Saitama Mathematical Journal Vol.27, (2010)pp.9-23				
On the existence of crepant resolutions for toric hyperquotient singularities in dimension three	単著	平成25年12月	Commentarii Mathematici Universitatis Sancti Pauli, Vol. 62, No.2, (2013)pp.125-142				
II-4 (研究紀要)							
オイラーの多面体定理に基づいた数学の教材開発について-コンピュータ・情報機器を用いた授業を通して-	共著	平成24年3月	日本医療科学大学研究紀要 第4号, (2011)pp.17-29	三田満男, 西澤由輔, 佐藤宏平			
II-5 (国際学会等発表) 予稿集, 会議論文集があれば付記のこと							
Crepant resolution for toric hyperquotient singularities in dimension three	単著	平成23年4月	Mini-Workshop on Algebraic Geometry (Sogang University)				
On the existence of toric crepant resolution of toric hyperquotient singularities in dimension three	単著	平成23年10月	代数幾何学城崎シンポジウム				
II-6 (国内学会等発表)							
Crepant resolutionの存在問題と完全交叉型可換商特異点について	単著	平成21年9月	名古屋大学 非可換環と代数幾何				
ある3次元hyperquotient singularityに対するcrepant resolutionの構成について	単著	平成22年12月	産総研 RCIS 第2回 暗号及び情報セキュリティと数学の関連ワークショップ				
On the existence of toric crepant resolution of toric hyperquotient singularities in dimension three (ポスター形式)	単著	平成23年10月	代数幾何学城崎シンポジウム				
Affine toric terminal 3-fold上の有限対角作用による商空間のクレパント特異点解消について	単著	平成23年12月	2011第九回代数曲線論シンポジウム				
ConifoldのGorensteinトリック商に対するcrepant特異点解消の存在とMcKay対応	単著	平成25年11月	名古屋大学 代数幾何学セミナー				
II-7 (解説・総説)							
II-8 (特許)							
II-9 (その他)							

III 学内外の主な競争的資金の獲得(採択されたものに限る)(過去7年)
III-1 競争的資金の名称
(平成22年度) 特別研究員(DC2) (平成22年~24年, 高次元アーベル商特異点に対するクレパント特異点解消についての研究)
IV 学会等及び社会における主な活動
IV-1 所属学会(記載時)
(平成28年度) 日本数学会
IV-2 外部団体からの受賞および表彰(過去7年)
IV-3 外部委員会の委員等(過去3年)
IV-4 その他の該当事項(過去7年)
V 担当教科(該当年度を含め過去3年)
V-1 専攻科(該当年度も含め過去3年)(生産:生産システム専攻, 環境:環境システム専攻)と略記
(平成28年度) 応用数学(環境, 生産)
V-2 本科(該当年度も含め過去3年)(M:機械工学科, E:電気情報工学科, C:物質工学科, B:環境都市工学科)と略記
(平成27年度) 基礎数学 I (1E, 1B), 基礎数学III (2E, 2C), 応用解析 I (4C, 4B)
(平成28年度) 基礎数学 I (1C, 1B), 微分積分学 II (3E, 3C)